

～買物弱者 600 万人時代～

高齢者の買い物について話し合う会 (29.3.28)

於 東成区在宅サービスセンター

A班

—一般の参加者が中心のグループ—

- ◆押し車をおしながら買い物をしているけど、行くのに15～20分かかる。いまは週に1回だけど、本当は、2日に1回くらいのペースで行きたい。近くの商店もなくなって不便になってしまった。
- ◆いまは困ってなくても、病気をしたときにサポートがほしい。
- ◆この先自転車に乗れなくなったら困る。



B班

—地域活動者が中心のグループ—

- ◆友達やご近所さんにも困っていると言える“助けられ上手”になることも大事。
- ◆困りごとにもサポートの方法も地域性がある。
- ◆会館を使って取り組みを始めている地域もある。どのように注文することがより良い方法なのか話し合った。生活用品だと、置き菓のようなやり方でできるかもしれない。
- ◆地元に商店があるので、そこと協力できるかもしれない。



C班

—きづくちゃん「たすけ愛」活動の会や、介護事業所のグループ—

- ◆買い物をきっかけにした元気づくりや、買い物がリハビリのモチベーションにもなっていることもある。
- ◆拠点ができたら知り合い同士で利用方法を教え合ったり、「あそこでやってるから一緒に行こう」と誘いあったりもできるかもしれない。
- ◆いまずぐできることばかりではないので、〇年後、〇年後、と仕分けて話しすることも大事。



セブンイレブンハートイン ピエラ玉造店

セブンミールは、商品お届けサービスです。

お弁当やおにぎり、お米や生野菜、そして生活用品などをお届けします。

500円以上注文すれば送料は無料。重たいものを持ち帰ることが大変なお年寄りの方や、足に障がいがある、買い物になかなか行けない方などが利用されています。

※お店や電話、インターネットでの会員登録（無料）が必要です。



—区社協から—

当日ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

話し合いの中で、上の報告のように、切実な思いや、取り組みの可能性が広がる熱い意見が飛び交いました。

セブンイレブンハートイン ピエラ玉造店さんの試食会も大賑わい！買い物のサポートのためにも、日ごろの支えあいの中で、セブンミール（宅配サービス）の情報提供も、よろしくお祈りします。

みなさまの次回のご参加をお待ちしています♪